

令和6年度 第1回志貴野ホーム地域連携推進会議 報告書

日 時：令和7年3月5日（水）10：00～ 研修相談室

出席者：下代自治会長	南 英光様
高岡市社会福祉協議会事務局長・常務理事	上見 弘昭様
中田地区社会福祉協議会会长	太田 正樹様
利用者家族代表	川上 由雄様
中田地区婦人会会长	杉澤 泰子様
高岡市中田赤十字奉仕団委員長	高桑 恭子様
利用者代表	原 小百合様
志貴野ホーム	石浦施設長 守護次長 宮本課長

1. 施設長挨拶、出席者紹介

2. 館内案内

3. 志貴野ホーム沿革、利用者状況説明（パンフレット、志貴野ホーム入所・短期入所利用状況）

4. 意見交換

上見様より

- ・地域の方へ知ってもらうためのイベントは、職員の仕事が増すと敬遠されがちだが、外に見えることで様々な効果がある。地域の方には、施設や利用者について正しく理解を深めてもらえる。人口減少が避けられない今、支え合っていくことが必要である。
- ・32ヶ所の社会福祉法人が地域との連携を強化し、地域に根差していく地域の駆け込み寺となって、社協につなげてほしい。できるところから進め、地域に広げていければ成長していく。
- ・横のつながりが薄れてきている今、今後どのようにしていくべきか、戦略を立てて進めていかなければいけない。

太田様より

- ・理事会で施設には来ているが、初めて見学を行った。施設内は明るく、設備が整っている。

川上様より

- ・いかに地域の方に知ってもらうか、どのようなコンタクトをとっていくのか？地域の行事への参加や広報誌の回覧等、自分がいる在所でもコロナで世の中が変わって、繋がりが難しくなってきており、一つ一つ掘り起こしていかなければいけないと感じている。

南様より

- ・初めてこちらに来て、どのような施設か知ることが出来たが、夜勤者は何名配置されているのか？

- 夜勤者は3名であるが、21時30分過ぎまで遅番職員1名が勤務しており4名で52名の就寝対応をしている。

杉澤様より

・庄川は、岐阜での流量が増さない限り大丈夫であると言われているが、災害時にはどうなっているのか？

- 志貴野ホームは、福祉避難所となっているが、水害ハザードマップでは、立ち退き避難が必要な区域となる為、志貴野長生寮など高い場所への避難することになっている。